



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月13日

上場会社名 K L a b株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3656 URL <http://www.klab.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 真田 哲弥
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営管理部長 (氏名) 高田 和幸 (TEL) 03-4500-9077
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	15,940	46.4	1,891	—	1,999	—	1,290	—
25年12月期第3四半期	10,891	—	△1,078	—	△850	—	△770	—

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 1,263百万円(—%) 25年12月期第3四半期 △789百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	38.16	36.78
25年12月期第3四半期	△29.82	—

(注) 1. 平成25年12月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 平成25年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	11,576	8,563	73.6
25年12月期	8,697	4,007	45.5

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 8,521百万円 25年12月期 3,953百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,940	—	2,191	—	2,299	—	1,511	—	44.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

前連結会計年度は、決算期の変更により、平成24年9月1日から平成25年12月31日までの16ヶ月となっております。このため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) ー、除外 1社(社名) メディアインクルーズ株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期3Q	37,235,500株	25年12月期	33,058,600株
26年12月期3Q	1,178,100株	25年12月期	1,189,600株
26年12月期3Q	33,817,671株	25年12月期3Q	25,847,468株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、前連結会計年度より決算期を8月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、当第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日～平成26年9月30日）は、比較対象となる前第3四半期連結累計期間（平成24年9月1日～平成25年5月31日）と対応する期間が異なることから、前年同四半期の比較については記載しておりません。

- 3四半期連続で増収増益を達成。売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益は過去最高を記録。
- 当第3四半期連結会計期間の売上高は、6,354,918千円となり、第2四半期連結会計期間比23.1%の増加。
- 売上高の増加要因は、「ラブライブ！スクールアイドルフェスティバル」及び「天空のクラフトフリート」の売上が好調であったことによるもの。
- 費用面では、売上原価は4,075,599千円となり第2四半期連結会計期間比12.8%の増加。これは売上高の増加に伴い支払手数料及び使用料が増加したことによるもの。
- 販売費及び一般管理費は、1,084,156千円となり第2四半期連結会計期間比14.4%の増加。これは政策的に広告宣伝費及び試作費を増加させていることによるもの。
- 営業外収益として為替差益95,961千円を計上。これは当社グループが保有する外貨建債権債務に関して、当第3四半期末時点の為替相場で評価替を行ったことにより発生したもの。
- 「かぶりん！」に係るソフトウェアの減損処理等を行ったことにより、特別損失98,861千円を計上。
- この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高15,940,567千円、営業利益1,891,331千円、経常利益1,999,836千円、四半期純利益1,290,375千円。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は11,576,296千円となり、前連結会計年度末に比べ、2,878,660千円の増加となりました。

流動資産合計は9,760,867千円となり、前連結会計年度末に比べ、2,892,421千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金の増加によるものであります。

固定資産合計は1,815,428千円となり、前連結会計年度末に比べ、13,760千円の減少となりました。これは主に、敷金及び保証金の減少によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は3,012,676千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,677,561千円の減少となりました。

流動負債合計は2,950,481千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,630,004千円の減少となりました。これは主に、短期借入金の減少によるものであります。

固定負債合計は62,194千円となり、前連結会計年度末に比べ、47,556千円の減少となりました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は8,563,620千円となり、前連結会計年度末に比べ、4,556,222千円の増加となりました。これは主に、資本金、資本剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期第4四半期連結会計期間の売上高見込は第3四半期連結会計期間の業績予想と同額としています。費用については、先行投資として年末年始にTVCMを計画しているため、第4四半期連結会計期間において広告宣伝費は1,000百万円を見込んでいます。広告宣伝費以外については第3四半期連結会計期間からの大きな変動は見込んでいません。

上記の結果、平成26年12月期通期連結業績予想は以下の通りとなっています。

平成26年12月期通期連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

売上高	21,940百万円
営業利益	2,191百万円
経常利益	2,299百万円
当期純利益	1,511百万円

上記に記載した将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な不確定要素により変動する可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2 四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であったメディアインクルーズ株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,517,756	6,222,728
売掛金	1,877,506	2,792,144
その他	479,619	752,419
貸倒引当金	△6,436	△6,424
流動資産合計	6,868,445	9,760,867
固定資産		
有形固定資産	300,294	228,280
無形固定資産		
のれん	71,856	56,735
その他	549,435	820,780
無形固定資産合計	621,292	877,515
投資その他の資産	907,602	709,632
固定資産合計	1,829,189	1,815,428
資産合計	8,697,635	11,576,296
負債の部		
流動負債		
買掛金	723,964	1,342,775
短期借入金	2,750,000	—
賞与引当金	101,407	23,705
未払法人税等	51,711	522,540
その他	953,402	1,061,459
流動負債合計	4,580,486	2,950,481
固定負債		
長期借入金	97,288	60,000
その他	12,463	2,194
固定負債合計	109,751	62,194
負債合計	4,690,237	3,012,676
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,748,090	4,404,667
資本剰余金	2,443,846	4,100,422
利益剰余金	△570,623	719,751
自己株式	△626,131	△621,014
株主資本合計	3,995,181	8,603,828
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△41,218	△82,392
その他の包括利益累計額合計	△41,218	△82,392
新株予約権	44,699	19,305
少数株主持分	8,734	22,879
純資産合計	4,007,397	8,563,620
負債純資産合計	8,697,635	11,576,296

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	10,891,083	15,940,567
売上原価	8,399,270	10,949,937
売上総利益	2,491,812	4,990,629
販売費及び一般管理費	3,570,810	3,099,297
営業利益又は営業損失(△)	△1,078,997	1,891,331
営業外収益		
受取利息	750	1,066
為替差益	229,432	59,794
事業構造改善費用戻入額	—	27,536
その他	20,342	30,950
営業外収益合計	250,525	119,347
営業外費用		
支払利息	13,084	6,242
持分法による投資損失	8,495	4,266
その他	540	334
営業外費用合計	22,121	10,843
経常利益又は経常損失(△)	△850,593	1,999,836
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	—	16,395
自己新株予約権消却益	—	2,350
特別利益合計	—	18,745
特別損失		
事務所閉鎖損失	—	12,916
減損損失	255,242	120,705
関係会社株式売却損	14,647	—
その他	903	1,797
特別損失合計	270,794	135,419
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△1,121,388	1,883,162
法人税等	△350,924	579,451
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△770,463	1,303,711
少数株主利益	425	13,335
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△770,889	1,290,375

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△770,463	1,303,711
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△19,291	△40,365
四半期包括利益	△789,754	1,263,345
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△791,504	1,249,201
少数株主に係る四半期包括利益	1,750	14,144

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年9月1日 至 平成25年5月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使等があり、資本金が890,878千円、資本準備金が890,878千円増加しました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,793,058千円、資本剰余金が1,488,813千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において、ドイツ銀行ロンドン支店及びOakキャピタル株式会社による新株予約権の権利行使等があり、資本金が1,656,576千円、資本準備金が1,656,576千円増加しました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が4,404,667千円、資本剰余金が4,100,422千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年9月1日 至 平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	ゲーム事業	その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	10,133,174	757,909	10,891,083
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	10,133,174	757,909	10,891,083
セグメント利益	2,262,200	229,612	2,491,812

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため、差異調整は行っておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

ゲーム事業セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において255,242千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

ゲーム事業セグメントにおいて、平成24年9月3日付でメディアインクルーズ株式会社の発行済株式総数の100%の株式を取得し、同社を連結子会社といたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては307,101千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	ゲーム事業	その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	15,896,783	43,783	15,940,567
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	15,896,783	43,783	15,940,567
セグメント利益	4,975,006	15,623	4,990,629

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため、差異調整は行っていません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ゲーム事業」セグメントにおいて、ソフトウェアの減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において98,767千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。